

平成 28 年 3 月 7 日

情報セキュリティ監査実施報告書

この情報セキュリティ監査実施報告書は、平成 27 年度に実施した戸田市情報セキュリティ監査支援業務委託の業務のうち情報セキュリティ内部監査（以下「内部監査」という。）及び情報セキュリティ外部監査（以下「外部監査」という。）の実施結果を報告するものである。

株式会社 JMC リスクソリューションズ（以下「弊社」という。）は、戸田市が平成 27 年 7 月 6 日から平成 27 年 7 月 10 日までの期間において 20 所属を対象に実施された内部監査に立会い、被監査部門及び内部監査員に対し助言を行った。また、弊社は 2 つのシステムを対象に外部監査を行った。

それぞれの結果は下記のとおりである。

記

1 内部監査の総評

戸田市では、平成 17 年度から内部監査を開始し今年度で 10 年目を迎える。情報セキュリティ対策の取り組みを全庁的に浸透させるため、3 年で全ての所属を一巡させており、今年度は 4 巡目の 2 年目に当たる。

平成 27 年度の内部監査は、成熟度レベル評価を活用した情報セキュリティ対策レベルの可視化を継承し、対策レベル及び対策優先度レベルを数値設定した。その効果として、内部監査被監査部門の現状の対策レベルと市全体の対策レベルが数値で測定可能となる点に併せて、対策優先度レベルを設定したことで情報セキュリティ対策強化の重点ポイントが可視化できる点が挙げられる。

また、従前の課題であった、被監査部門の取り組みがどのレベルまで実施していれば適切であると判断して良いのか、という内部監査員の疑問に対し合格とする対策レベルを明確にした事で、監査員による判断のバラ付きを減らすための改良も加えられた。

2 対策レベルの結果について

次頁に示す内部監査判定基準に基づく市全体の対策レベル平均は、3.01 であった。合格水準である 3.00 を 4 年連続で維持している。

（参考値：平成 24 年度 3.01、平成 25 年度 3.02、平成 26 年度 3.01）

数値の推移は、昨年度と同じ対策レベルを維持した。全体として、基本的なルール対策は徹底されているものの、独自システムの管理面やファイルサーバ上のデータ管理など、次のステップへ向けての課題が検出された。

一方で、保育園の対策レベルが非常に高く、対策レベルの二極化が広がってきている

と感じられた。

「内部監査の判定基準」

評価	成熟度判定	分類基準
適合 「○」	レベル4 (Good Point)	レベル3の状態が継続的に続けられており、積極的な改善活動がなされている。
	レベル3	情報セキュリティポリシー等の基準を満たしており、標準的な対策が実践されている。
不適合 「×」	レベル2	情報セキュリティポリシー等の基準に対し、属人的な対策であるため、改善の余地がある。
	レベル1	情報セキュリティポリシー等の基準に対し、場当たり的な対策であるため、改善必要である。
	レベル0	情報セキュリティポリシー等の基準が適用されていない。又は認識されていない。

3 外部監査の総評

外部監査の対象となった2つのシステムは、規模や利用形態が異なるものであったため、監査項目ごとの結果が単純比較はできないものの概ね適切なレベルで管理されていた。また、一部の管理項目において一般的な対策レベルを下回る項目があったため、改善提言にて対策を促し、本報告の時点において課題は改善されており、適切な管理状態となっている。

4 今後の取り組みについて

日本年金機構の情報漏えい事故を発端に、インターネットと基幹系ネットワークの分離は必須となり、インターネットを活用することのリスクに対し、適切な措置が必要となった。具体的には、不正アクセスを前提としたネットワーク設計と通信の監視が必須となるため、技術面と運用面の両方から監視体制を強化し、攻撃の予兆を検知・分析する対応が求められる。

また、外部監査の対象を含めた監査計画の見直しも必要となります。サイバー攻撃への備えに関して、その実装状況を評価するための技術的なセキュリティ診断も加味し、中長期的な監査計画の見直しが望まれる。

以上